



もとみや 議会だより

第 62号

令和2年7月発行



ニャーオ！明日の天気は？

(白岩幼稚園)

議案審議

一般質問8名が登場

令和元年度政務活動費の使い道を紹介

P. 2~3

P. 10~14

P. 16~17

本宮市議会

ホームページアドレス

<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/gikai/>

メールアドレス

gikai@city.motomiya.lg.jp

各会計補正予算など 23議案を可決

定 6 例 月 会

6月定例会（第5回本宮市議会定例会）は、市長から条例の制定や各会計補正予算など21議案と報告5件が、議員から発議2件が提出され、採決を行った結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

また、陳情2件が提出され、審議の結果、1件は採択となり1件は不採択と決定しました。

なお、今回の定例会は新型コロナウイルス感染症対策のため、議場のドアを開放し、議員は席を空けて座り、執行部は部長のみの出席とし、マスク着用で行われました。

国民健康保険の税改正			
項目		令和元年度	令和2年度
所得割	医療給付費分	6.63%	7.10%
	後期高齢者支援金分	2.42%	2.57%
	介護納付金分	1.95%	2.13%
均等割	医療給付費分	23,200円	22,500円
	後期高齢者支援金分	8,400円	8,300円
	介護納付金分	8,800円	8,300円
平等割	医療給付費分	19,400円	18,700円
	後期高齢者支援金分	6,700円	6,600円
	介護納付金分	5,100円	4,600円
一人当たりの税額		101,944円	98,555円
一人当たりの税額伸び率		—	96.68%

国民健康保険税

昨年度対比 3・3%の引き下げ

6月定例会は、その年度の国民健康保険税率の改正を行うことから、通称「国保議会」とも呼ばれています。

今年度の国民健康保険税率の算定については、平成30年度から財政運営が県に移行され、県から示される納付金、並びに、被保険者の所得額確定に基づいて行いました。被保険者の負担の公平性を図るため、応能・応益比について調整を行い、財源不足分については令和元年度国民健康保険特別会計の繰越金を充てることにより、今年度は一人当たりの税額を引き下げることとなりました。

一般会計補正予算（第4号） 12億9,082万円を増額

令和2年度



▲全児童生徒にタブレットの支給を進める

一般会計補正予算（第4号）

「ギガスクール構想」経費や荒井・仁井田各地区体育館耐震補強改修工事請負費など計上

今議会に提出された令和2年度一般会計補正予算（第4号）の主なものは、「ギガスクール構想」にかかる小中学校の高速大容量の通信ネットワーク整備のための工事費用や全児童生徒に一台ずつのタブレット端末を購入するための費用、荒井・仁井田各地区の体育館の耐震補強にかかる工事請負費及び同工事の工事監理

《一般会計補正予算（第4号）の主な内訳》

歳出

ギガスクール構想経費等…………… 6億595万円
荒井・仁井田各地区体育館耐震補強改修工事… 4億6,200万円
中央公民館災害復旧工事…………… 1億6,500万円

歳入

荒井・仁井田地区体育館耐震補強改修事業債… 4億7,580万円
公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金… 1億5,000万円
小中学校情報通信ネットワーク環境整備事業債… 1億3,480万円

一般会計補正予算（第3号）

一般会計補正予算（第3号）専決処分は、新型コロナウイルス感染症対策にか

委託料、令和元年東日本台風被害による中央公民館の災害復旧にかかる工事請負費及び工事監理委託料などが計上されました。
歳入については、各事業に対する国や県の負担金や補助金のほか、市債、財政調整基金からの繰入金などが計上されました。
この結果、歳入歳出予算それぞれに12億9,082万円が増額されました。

一般会計補正予算（第5号）

一般会計補正予算（第5号）は追加議案として上程され、ひとり親世帯臨時特別給付金や令和元年東日本台風の被害を受けた本宮第1保育所の移設に伴う用地取得事業の費用等が計上され、歳入歳出予算それぞれに1億490万円が増額されました。

かる市独自の支援として、営業自粛等協力金、事業継続奨励金や緊急的な雇用対策として会計年度任用職員の報酬等を計上され、歳入歳出予算それぞれに1億7,883万円が増額されました。

人事

今定例会では、初日に監査委員の選任について議案が上程され、全会一致で同意しました。

監査委員

國分 真一氏

（本宮字蛭田）

総務文教常任委員会



▲委員会での審査の様子

総務文教常任委員会には、令和2年度本宮市一般会計補正予算（第4号）のほか、議案5件、陳情1件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

説明 定例記者会見及び臨時記者会見の手話通訳料にかかる経費を補正する。

問 手話通訳者は専属か。

答 一般社団法人福島県聴覚障害者協会に依頼し、年間48時間分の予算を計上している。

説明 児童・生徒に対し、一人一台のタブレット端末の整備にかかる経費を補正する。

問 タブレット端末導入後の学校外での活用に向けた方針は。

答 タブレット端末の活用については、プログラミング学習や調べもの学習などを前提としているが、今後、緊急時等の活用を想定し、各家庭のネット環境の有無についてアンケート調査を行っている。

陳情審査

陳情第2号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書」について、人口減少・超高齢化に伴う社会保障費関連の地方の財政需要増加に対応するためには、さらなる地方財政の充実・強化が求められることから、採択すべきとの意見で全委員が一致決定した。

生活福祉常任委員会



▲委員会での審査の様子

生活福祉常任委員会には、本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定のほか、議案8件が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

本宮市国民健康保険税条例の一部改正

説明 地方税法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い所要の改正を行うもの。

問 県内の保険税の統一の見通しは。

答 現状では各市町村の保険税算定方式の違いや、医療費水準に開きがあるため保険税が異なっているが、将来的には県内の保険税の統一を目指している。

平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正

説明 東日本大震災により被災した被保険者等に係る国民健康保険税については、減免措置を講じてきたところであるが、国の財政支援が延長されたことから減免措置を延長する。

問 減免措置の対象と期間は。

答 東日本大震災により避難を余儀なくされた浪江町などの方で本市に住居登録をしている方が対象となり、期間については、今のところ令和2年度末までとなっている。

産業建設常任委員会



▲陳情箇所の現地調査の様子

産業建設常任委員会には、陳情1件及び専決処分の承認を求めることについてのほか、6件の議案が付託されました。主な審査内容は次のとおりです。

専決処分の承認を求めることについて
(一般会計補正予算第3号)

説明 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う農工商業者等への支援のため、事業継続奨励金及び営業自粛等協力金の補正を行った。

問 事業継続奨励金の業者からの申請状況は。

答 5月8日の申請受付開始から、6月17日現在までで、5件となっている。

陳情審査

陳情第3号「市道堀ノ内・西明内線(市道120号線)及び市道高木・和田線(市道17号線の一部)拡幅整備の陳情書」については、市全体の道路環境と比較・検討した場合、他に整備や拡幅が必要な路線が多くあり、早急に本陳情箇所の拡幅整備を実施することは困難であると考えられる。そのため、当面は舗装修繕等の維持管理を行い、安全確保を図るべきであるとの見解から、不採択と決定しました。

現地調査

市道堀ノ内・西明内線及び市道高木・和田線の現地調査を執行部同行のもと実施した。

台風第19号災害対策特別委員会



▲正副特別委員長から議長へ提言書を提出

台風第19号災害対策特別委員会では、委員会の意見をまとめ、正副特別委員長から議長へ次の2件を提言しました。

①令和元年東日本台風の甚大なる被害を重視し、後々の災害等に対し、市民の安全確保を図るため、事態の教訓を生かした検証を行うこと。

②本議会が、災害の発生時に継続して担うべき役割及び義務に関する計画の規定を追加した本宮市議会基本条例の一部改正、及び本宮市議会業務継続計画を策定すること。

この提言を受け、正副議長から市長へ事態の教訓を生かした検証を速やかに行うことを要望しました。

また、6月定例会で本宮市議会基本条例を一部改正し、本宮市議会業務継続計画を策定しました。

なお、台風第19号災害対策特別委員会は、河川工事が進められていること、災害ごみ処理も順調に進展していることなどを勘案した結果、6月定例会をもって解散しました。



▲正副議長から市長へ要望書を提出

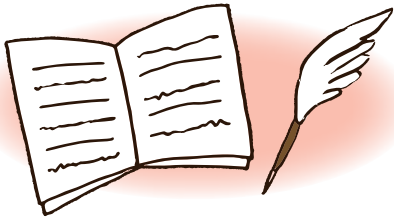
意見・要望への対応をお知らせします

本年1月25日(土)に開催した市民との意見交換会でいただいた皆さんの意見・要望を、広報広聴委員会で「市長に伝えるもの」と「議会にて対応するもの」に精査分別し、4月21日の全員協議会で対応方針を決定しました。

市長に伝えるもの

市長に伝えるものは、市民の率直な意見として4月21日に市長に提出しました。内容の一部をご紹介します。

市長に伝えるものの詳細は、本宮市議会のホームページに掲載していますので、ご覧ください。



本宮第一中学校区

① 防災対策について

もっと早く住民に危険を知らせるべきだった。消防のサイレンなどを利用し、重大性をアピールすべきだった。

「越水」などという市民にわからない言葉は使わずに説明してほしい。防災行政無線でも安達太良川が決壊すると言えれば簡単に分かったのに、町内の方に後で聞いたがほとんどの方が分かっていなかった。

② 子育て・学校教育について

学校が終わると児童館に移って待機して帰宅する。変質者の話も聞いたりするので、わざわざ児童館へ行かずに学校で待機できる仕組みが欲しい。

本宮駅西側は小中学生の通学路であり、今後の西口開発で交通量が多くなると思うが、駅に向かう道路が狭くて歩道がない場所がある。歩道をつくるとか一方通行にするなどの計画はないか。

青田と仁井田は二中に決まっているが五百川小学校区の子どもたちは、交通安全の観点から交通量の多い会津街道を自転車で通うよりは一中への方が安全では。子どもが将来交通事故に遭わないようにすべきで、学校の選択はできないか。

本宮第二中学校区

① 防災対策について

・多額を投じてハード面の整備には限界があると思う。いくら整備しても想定外のことが起こる。ソフト面の充実やハザードマップの見直しが必要だと思う。

・避難所が公民館という設定は問題だ。遠くて歩いてなど行けない。集会所を避難所に設定することも検討すべきでは。

・山の木を伐採して保水力を失っている。ため池をつくる、堤防の嵩上げなど、従来の発想でスーパー災害に対応できるのか。メガソーラーは果たして良いのか。

② 子育て・学校教育について

・通学路にガードレールを付けて整備をして欲しい。二中学生も通わせている親としては、工事の車など狭い山道でスピードを出す車に気が気ではない。住みよさNo1と言っているが、私はそうは思っていない。シヨッピング施設にある、減速帯を設けるなどしてスピードを落とすような道にして欲しい。教育・安心・安全をお願いしたい。

・岩根から浄水場へ向かう道路は蛇行しているうえに歩道がない。

白沢中学校区

① 防災対策について

・郡山市、須賀川市には遊水地がある。本宮市では考えていないのか。

・あれだけ防災ラジオで放送しても避難されなかった方がいた。避難されない高齢者は動くのも億劫で、自分たちは大丈夫だろうと思っていたと思う。周りの方が声掛けをしなると高齢者の避難は無理なのではないか。

② 子育て・学校教育について

・外国人の教師をもっと増やすべきだと思う。生きた英語に触れれば覚える。一緒に遊んでいるときに英語で何か言われていると、こう言っているんだなって、子どもはだんだん理解してくる。

・白沢野球場のフェンスの錆や穴あきなどの老朽化が見られる。修繕・修理をお願いしたい。

③ その他

・ちょっとした買い物でも高木や旧町内まで行かなければならない。若い方は白沢地区に家を建てて住むという考えは持たないのではないか。もっと身近なところに買い物ができる場所があったほうが、多少考え直す人もいるのではないか。

本会議での討論

6月19日の本会議で、陳情第3号の不採択について討論がありました。主な内容は次のとおりです。

不採択 賛成討論 **石橋今朝夫 議員**

本陳情は、近年の交通量の増加に伴い、高齢者や子どもたちの通行の安全性が心配されることから、安全確保を図るため、拡幅整備を求めるものである。

本陳情箇所の一部区間においては、幅員が狭まる箇所があり、拡幅整備の必要性は認識しているが、市道全体の中で、整備や拡幅が必要な箇所との道路環境を比較・検討した場合、早急に全延長の拡幅整備を実施することは困難であると考ええる。

そのため、当面は舗装修繕等の現道の維持管理を行うことで、高齢者や子どもたちの安全確保を図るべきである。

不採択 反対討論 **渡辺忠夫 議員**

陳情第3号は地域の皆さんの願いが込められており、採択すべきである。

「陳情の採択」とは議会は陳情内容に賛成する事であり、当然ながら「不採択」とは陳情内容に反対という事である。

今回賛成できない理由に、「陳情路線は市全体の道路環境と比較・検討した場合、比べれば他にもっとやるべきところがある」とのことだがこれでは何を陳情しても不採択になってしまう。

陳情活動は議員の重要な活動である。陳情を取りまとめなどしても採択にならないのでは議員としての活動が削がれてしまう。当局としても、そこを少し工事しようとしても、議会が反対しているから手を出せないという事になってしまうのではないか。

この場合、「採択」として、出された意見は意見として報告するのが最適なのではないか。

陳情第3号

市道堀ノ内・西明内線（市道120号線）及び市道高木・和田線（市道17号線の一部）

拡幅整備の陳情書

市道の拡幅を求める陳情書です。この陳情は、付託された産業建設常任委員会では不採択としましたが、その決定について反対がありました。

6月定例会賛否一覽

これら以外の議案等は9ページのとおり全会一致で可決されています。

会 派 名	みらい創和会				新 風 会				志 誠 会		共	無 所 属								
議員名	田谷	石橋今朝夫	磯松	渡辺由紀雄	三瓶	川名	斎藤	根本	橋本	菊田	遠藤	渡辺	馬場	三瓶	菅野	渡辺	渡辺	伊藤	作田	国分
議案番号	長作	朝夫	俊彦	紀雄	裕司	順子	雅彦	利信	善壽	広嗣	初実	忠夫	亨守	幹夫	健治	秀雄	善元	隆一	博	勝広
陳情第3号 不採択	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○	●

※○は賛成 ●は反対 欠は欠席 議長（渡辺由紀雄）は採決には加わらない
 ※会派名の略称は以下のとおり 共…日本共産党

議決結果一覧

議決結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果
議案第44号	監査委員の選任について	同意
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて (専決第3号 令和2年度本宮市一般会計補正予算(第3号))	承認
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて (専決第4号 令和2年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第1号))	承認
議案第47号	本宮市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第48号	本宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第49号	本宮市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第50号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する市民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第51号	本宮市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第52号	本宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
議案第53号	本宮市震災・原子力災害復興基金条例を廃止する条例制定について	原案可決確定
議案第54号	本宮第2保育所建築主体工事請負契約について	原案可決確定
議案第55号	市道路線の廃止について	原案可決確定
議案第56号	市道路線の認定について	原案可決確定
議案第57号	郡山市と本宮市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結に関する協議について	原案可決確定
議案第58号	令和2年度本宮市一般会計補正予算(第4号)	原案可決確定
議案第59号	令和2年度本宮市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決確定
議案第60号	令和2年度本宮市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決確定
議案第61号	令和2年度本宮市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決確定
議案第62号	令和2年度本宮市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決確定
議案第63号	防災行政無線(固定系)本宮地区システム更新工事請負契約について	原案可決確定
議案第64号	令和2年度本宮市一般会計補正予算(第5号)	原案可決確定
報告第5号	令和元年度本宮市継続費繰越計算書について	
報告第6号	令和元年度本宮市繰越明許費繰越計算書について	
報告第7号	令和元年度本宮市事故繰越し繰越計算書について	
報告第8号	令和元年度本宮市水道事業会計予算繰越計算書について	
報告第9号	令和元年度本宮市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	
発議第4号	本宮市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	原案可決確定
発議第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決確定
	閉会中継続調査申出書(各常任委員会)	決定

陳情一覧表

受理番号	受理年月日	付託委員会	件名	提出者の氏名	審議結果
陳情第2号	令和2年5月20日	総務文教	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情書	日本労働組合総連合会 福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	採 択
陳情第3号	令和2年5月29日	産業建設	市道堀ノ内・西明内線(市道120号線)及び市道高木・和田線(市道17号線の一部)拡幅整備の陳情書	和田第五新生会 会長 佐藤 洋治 和田第一新生会 会長 平 勝治 和田第三新生会 会長 渡辺 博	不採 択

一般質問

市政を問う

6月定例会の一般質問は、8名の議員が登壇し、2日間にわたって行われました。
1 議員2題、内容を要約してお伝えします。

なお、今定例会では新型コロナウイルス感染症対策として、一般質問において会派所属議員は各会派から一名のみの質問とし、質問者は自席で質問を行いました。

11ページ：

■菊田広嗣 議員（志誠会）

- ・納税困難者への対応は
- ・コロナ影響下での防災訓練の考えは

■磯松俊彦 議員（みらい創和会）

- ・新型コロナウイルス感染症対策は
- ・災害対策について

12ページ：

■三瓶幹夫 議員

- ・受験生に不利にならないように
- ・学校再開後の学習の進め方は

■斎藤雅彦 議員（新風会）

- ・申請しても未だ支給されていない
- ・新型コロナウイルス第2波対策は

13ページ：

■国分勝広 議員

- ・水害の原因を検証すべき
- ・人口減少に対応する方法論は

■馬場亨守 議員

- ・大森・一ツ屋線、今後の計画は
- ・秋通池の今後の対策は

14ページ：

■渡辺秀雄 議員

- ・メガソーラー設置に関する条例を
- ・年度後半活力と賑わいがでる事業を

■渡辺忠夫 議員（日本共産党）

- ・特別給付金の給付状況は。早く給付を
- ・子育て支援に学校給食費の助成を



▲新型コロナウイルス感染症防止のための行動を



問 納税困難者への対応は

答 市民に寄り添った対応をしていく

菊田 広嗣
議員
(志誠会)

問 新型コロナウイルスの影響により市内経済は大きな打撃を受けた。昨年の令和元年東日本台風の爪痕から復興しようとしていたタイミングでもあり、これにより納税が困難な事態に陥っている方も多いと思うが納税困難者への対応は。

答 条例改正で市税の納付が困難な方について、全税目で無担保かつ延滞金免除での一年間の徴収猶予特別措置を行う。また売り上げや収入が30%以上減少した場合に固定資産税や国保税、介護保険料の減免が受けられる制度が創設されている。

問 コロナ影響下での防災訓練の考えは

答 有事の際に万全の備えをしていく

問 本年度は市としての総合防災訓練は計画されていない。しかしコロナ蔓延時に災害が起きた場合、避難所運営は間隔を空けるなど従来とは全く違うものにならないかを。避難所運営の方法などコロナに対応した防災訓練の考えは。

答 職員による避難所設置訓練の実施を検討している。避難所運営に当たっては大きな施設に誘導し、パーテーション等での飛沫感染防止、検温、マスク配備、消毒の徹底などで感染予防を図り有事の際に万全の備えをしていく。

その他の質問

- ・遅延した学校教育の課題と解決方法は
- ・阿武隈川やその他の河川の整備状況は



▲新型コロナウイルス感染症対策を万全に



問 新型コロナウイルス感染症対策は

答 検診延期、安達広域発熱外来設置

磯松 俊彦
議員
(みらい創和会)

問 新型コロナウイルス感染症対策で飲食業者関連の消費喚起策は。

答 期間限定の商品券は地元経済活性化に有効だと考えており、今後検討していきたい。集団検診は10月から予約制とし、検温と手指消毒・マスク着用・飛沫防止パネル設置や換気などで対策していく。

問 災害対策について

答 防災体制の支援を実施

また、今年の保健事業実施における配慮は。

また、今年の保健事業実施における配慮は。本年4月の全員協議会で質問した安達広域圏での発熱外来が設置されることになったが、市ではどのような形でかわるのか。

今年には総合防災訓練を行わないが、今後の防災活動についての在り方は。

答 自主防災組織説明会の開催や地区防災体制の支援を行う。

発熱外来は設置という事で詳細について協議中。設置費用は3市村で負担していく。

発熱外来は設置という事で詳細について協議中。設置費用は3市村で負担していく。

排水機能が低下していると思われる箇所についての市の把握状況は。

職員による道路巡視の他、協定先や住民の方から通報もあり危険のないよう対応していく。



▲学校再開で元気に登校する子どもたち



問 受験生に不利にならないように
答 しっかりと進路指導もする

問 学校再開後の学習の進め方は
答 休校中の実態を十分把握する

問 学習はもろろんの部活動にも楽しんでいなかで、長期化した休校が受験生に不利にならないような対策は。

答 部活動等の取組の実績や出席日数については、入試に対して影響がない旨、県から示されている。学習については遅れがないよう学習内容の定着を図りながら受験に臨ませたい。三者相談や様々な機会を通して、しっかりとした進路指導の情報も提供していきたい。

問 学習の遅れを取り戻そうとするあまり、子どもたちに歩み寄り添う姿勢が失われてはいけない。遅れた部分を一気に取り戻そうとすれば、子どもたちや教員に大きな負担となる。長い休校で、リズムを取り戻すには時間がかかるのでは。

答 休校中の子どもたちの生活のリズム等については調査している。それぞれの学校において担任あるいはスクールカウンセラー等により、個別の相談をする機会を設けている。徐々に学校生活に適応できるような体制を取っている。

三瓶 幹夫
議員



問 申請しても未だ支給されていない
答 時間が経過し大変申し訳なく思う

齋藤 雅彦
議員
(新風会)

問 令和元年東日本台風による被災者生活再建支援金が、5月末時点で未だに支給されていない理由は。マンパワーが不足しているのではないかと。遅れをチェックするような進捗管理や手助けするような手段はとれなかったのか。

答 住宅の修繕書類や登記の記載がない、請求書に請求月日や宛名に苗字しか記載がないなど加算支援金の書類の再確認に時間を要している。現状は、受付から県送付までを1週間以内で行い100%送付済みとなっている。

問 新型コロナウイルス第2波対策は
答 感染を抑えられたのは市民の協力

問 気を緩めると第2波はくるとされているが、えぼかなど利用者の氏名、住所、検温について名簿を作成すべきではないか。

答 提案頂いた名簿作成は、教育委員会、保健福祉部で管理している。施設は全て行っている。市民の方々と一緒に新型コロナウイルスによる体温検知でアラームがなるようなシステムがあるが公共施設に今後の取組の考えは。

問 提案頂いた名簿作成は、教育委員会、保健福祉部で管理している。施設は全て行っている。市民の方々と一緒に新型コロナウイルスによる体温検知でアラームがなるようなシステムがあるが公共施設に今後の取組の考えは。

答 提案頂いた名簿作成は、教育委員会、保健福祉部で管理している。施設は全て行っている。市民の方々と一緒に新型コロナウイルスによる体温検知でアラームがなるようなシステムがあるが公共施設に今後の取組の考えは。

被災者生活再建支援制度の概要																
1. 制度の対象となる自然災害																
① 災害救助法施行令第1条第1項第1号又は第2号に該当する被害が発生した市町村 ② 10世帯以上の住宅全壊被害が発生した市町村 ③ 100世帯以上の住宅全壊被害が発生した市町村 ④ 又は②の市町村を含む都道府県で、 5世帯以上の住宅全壊被害が発生した市町村(人口10万人未満に限る) ⑤ ①～④の範囲に隣接し、 6世帯以上の住宅全壊被害が発生した市町村(人口10万人未満に限る)																
2. 制度の対象となる被災世帯																
上記の自然災害により ① 住宅が全壊した世帯 ② 住宅が半壊、又は住宅の敷地に被害が生じ、その住宅をやむを得ず解体した世帯 ③ 災害による自然災害が原因で、住宅に被害が生じ、被害が長期継続している世帯 ④ 住宅が半壊し、大規模な補修を行わなければならない居住している世帯(大規模な被害)																
3. 支援金の支給額																
支給額は、以下の2つの支援金の合計額となる (※ 世帯人数が1人の場合は、各該世帯の金額の5/4の額) ① 住宅の損壊程度に応じて支給する支援金(基礎支援金)																
被災世帯	<table border="1"> <tr> <th>被災程度</th> <th>金額</th> <th>世帯</th> <th>基礎総額</th> <th>大規模半壊</th> </tr> <tr> <td>(2. ①に該当)</td> <td>(2. ②に該当)</td> <td>(2. ③に該当)</td> <td>(2. ④に該当)</td> <td>(2. ⑤に該当)</td> </tr> <tr> <td>100万円</td> <td>100万円</td> <td>100万円</td> <td>100万円</td> <td>50万円</td> </tr> </table>	被災程度	金額	世帯	基礎総額	大規模半壊	(2. ①に該当)	(2. ②に該当)	(2. ③に該当)	(2. ④に該当)	(2. ⑤に該当)	100万円	100万円	100万円	100万円	50万円
被災程度	金額	世帯	基礎総額	大規模半壊												
(2. ①に該当)	(2. ②に該当)	(2. ③に該当)	(2. ④に該当)	(2. ⑤に該当)												
100万円	100万円	100万円	100万円	50万円												
② 住宅の再建方法に応じて支給する支援金(加算支援金)																
被災世帯	<table border="1"> <tr> <th>再建方法</th> <th>世帯</th> <th>金額</th> <th>世帯</th> </tr> <tr> <td>① 基礎支援金</td> <td>② 加算支援金</td> <td>③ 基礎支援金</td> <td>④ 加算支援金</td> </tr> <tr> <td>300万円</td> <td>100万円</td> <td>50万円</td> <td>50万円</td> </tr> </table> ※ ①～④の合計額は、世帯人数が1人以上の場合は、世帯人数に100万円を乗じた額となる。	再建方法	世帯	金額	世帯	① 基礎支援金	② 加算支援金	③ 基礎支援金	④ 加算支援金	300万円	100万円	50万円	50万円			
再建方法	世帯	金額	世帯													
① 基礎支援金	② 加算支援金	③ 基礎支援金	④ 加算支援金													
300万円	100万円	50万円	50万円													
4. 支援金の支給申請																
(申請窓口)	市町村															
(申請の受付期間)	① 被災支援金：災害発生後、被災者等 ② 加算支援金：被災者等の被災者等 ③ 基礎支援金：災害発生日から2月以内 ④ 加算支援金：災害発生日から2月以内															
5. 基金と国の補助																
○ 国の指定を受けた被災者生活再建支援法人(財団法人財団法人等)が、都道府県が相互扶助の観点から拠出した基金を活用し、支援金を支給。 ○ 基金が変動する支援金の1/2に相当する額を国の補助。																

▲早急に被災者の支援を



▲小幡橋の拡幅を行うべき

問 市道大森・一ツ屋線は、現在、本宮まゆみ小学校付近まで進んでいるが、今後どのような計画を進めるのか。また、小幡橋は朝の通勤時間帯7時から8時の間に262台が通り、橋が狭く事故も発生し、幹線道路でもあり早急に改修の考えはあるのか。

答 本宮の上千束から安達太良川を越えて小幡地内の県道石筵・本宮線に接続する計画であったが膨大な事業費のため平成28年9月議会で答弁したとおり計画を断念した。今後、都市計画マスタープランの中で小幡橋の改修計画を進めたい。

問 東笹田工業団地の調整池を兼ねている池が今年1月8日に突然、底にある排水口から貯水された全ての水が排出された。50m下流の大型ハウス2棟が甚大なる被害を受けたが今後の対策は。

答 平成29年に発生した豪雨の際に、道路側溝から排水があふれたという事があった。今後、秋通池を含め、道路、水路の管理に関しては、被害防止を最優先に災害防止に取り組んでまいりたい。



問 大森・一ツ屋線、今後の計画は

答 大森・一ツ屋線は計画を断念した

馬場 亨守 議員

問 秋通池の今後の対策は

答 適正な維持管理に努める



問 水害の原因を検証すべき

答 災害の検証作業を行う予定

国分 勝広 議員

問 安達太良川の堤防決壊による舘町、仲町の水害は鉄橋西側の一部低い所、約12mに大型土嚢を先に積めば防げたのではないかと。結局そこが危険だと認識していなかったからではないのか。リスクマネージメントの意識と対話の欠如では。今後、東日本台風の水害の原因を検証するべきでは。

答 今考えれば、そうだったのも一つの方法かと思うが、あそこまでの阿武隈川の高水位、計画高水位より44センチ上回る高さまで水位が上がることは考えていなかった。今年度、東日本台風の災害の検証作業を行う予定をしている。

問 本宮市人口ビジョン改訂版による人口推計では2040年に2万6,480人、2060年は2万1,770人となっている。2040年代から人口の上昇を目指すとするが、その方法論としての考えかたは。

答 社会動態人口の増加対策としては定住促進のための宅地造成奨励金や移住相談会の開催などをしていく。自然動態人口減少対策としては婚活支援や出産育児期における切れ目のない支援などを実施していきたい。



▲水害の原因を検証するべき



▲造成工事中のメガソーラー施設



問 メガソーラー設置に関する条例を 先進地等の事例もみて検討したい

渡辺 秀雄
議員

問 本市の太陽光発電施設設置の認定件数は457件あるそうだが、環境に優しいはずのメガソーラーが自然破壊、災害発生の原因となり、全国的に問題が起きている。施設の設置と調和を図る条例の制定を定める必要があるのではないか。

答 必要な施設であることは多くの意見の一致をみるころであるが、所によっては不安を抱えているのも事実である。市としては地域の人々の生活を守るという義務もあり、先進地等の事例も研究し検討していきたい。

問 年度後半活力と賑わいがでる事業を
予算に計上された事業の展開を

答 現在、新型コロナウイルス対策を中期・中止などを含めて進めている。予算に計上された事業については、若干の遅れは生じるかも知れないが、年度内に事業展開が出来るよう進めていきたい。

問 感染予防対策として、多くの行事等は中止・延期となっている。また、感染拡大に伴う支援策など新たな事務事業が発生し、本年度の事業計画に支障が出ている。年度後半にむけて、活力と賑わいのまちを築くための事業を検討しては。

答 今現在、新型コロナウイルス対策を中期・中止などを含めて進めている。予算に計上された事業については、若干の遅れは生じるかも知れないが、年度内に事業展開が出来るよう進めていきたい。

その他の質問

- ・高校入試に向けて市独自の学力向上対策を



問 特別給付金の給付状況は。早く給付を

答 96%決定通知し100%支給めざす

渡辺 忠夫
議員
(日本共産党)

問 新型コロナウイルス感染症拡大による影響はあらゆる世代に影響を与えている。国の支援である特別定額給付金、一人につき10万円を配るものだが現在給付金の給付状況は。

答 給付金の支給状況は6月10日現在、対象世帯1万924世帯のうち1万508世帯に交付決定の通知をした。これは96%にあたる。未申請の約400世帯に郵送で奨励の通知をしている。100%支給を旨とし取り組んでいる。

問 子育て支援に学校給食費の助成を
学校給食法で保護者負担となっている

答 学校給食法で学校給食に必要な施設及び設備に要する経費については運営する方で持つ、学校給食費に要する経費、賄い材料費等については児童・生徒保護者の負担と定められている。そのスタンスを継続していきたい。

問 子育て支援として学校給食の助成について何回か質問した。給食センターを共に運営する大玉村で今年度から学校給食費を助成する事を打ち出した。何回か質問しているが状況が変わったので給食費の助成について改めて伺う。

答 学校給食法で学校給食に必要な施設及び設備に要する経費については運営する方で持つ、学校給食費に要する経費、賄い材料費等については児童・生徒保護者の負担と定められている。そのスタンスを継続していきたい。

また、残っている世帯に早急に給付すべきではないか。

その他の質問

- ・国保税の子どもの均等割の軽減をすべきでは
- ・営業自粛等協力金、事業継続奨励金交付の現状は



▲学校給食費を助成すべきでは



▲増設予定のパークゴルフ場

第3回臨時会

令和2年度本宮市一般会計補正予算 (第1号) など議案5件を可決

4月21日に第3回臨時会が開かれ、市長から議案5件が上程されました。

議案は、新型コロナウイルス感染症対策等に係る専決処分による補正予算や、専決処分による本宮市税条例等の一部を改正する条例制定について、本宮市定住促進住宅条例の一部を改正する条例制定について、パークゴルフ場増設のための補正予算、消防ポンプ自動車の購入契約についてで、審議の結果、全会一致で承認可決しました。

第4回臨時会

令和2年度本宮市一般会計補正予算 (第2号) を可決

4月27日に第4回臨時会が開かれ、市長から議案1件が上程されました。

議案は、特別定額給付金事業及び、子育て世帯への児童手当追加給付事業に係る補正予算であり、審議の結果、全会一致で可決しました。

政務活動費の使い道をお知らせします！

令和元年8月から令和2年3月まで（議員改選後）の政務活動費の使途は次のとおりです。

政務活動費は議員1人当たり月額1万円の交付を受けることができ、今回は令和元年8月から令和2年3月までの8か月分の使い道についてお知らせします。

視察先や購入図書について、より詳しい内容をご覧になりたい場合は、ホームページをご覧になるか議会事務局までお問合せください。なお、差引残金は市の一般会計に返還しています。

会 派

会派名（人数）	みらい創和会（4人）	新風会（4人）	志誠会（3人）
収 入	280,000円※	320,000円	240,000円
調 査 研 究 費（a）	0円	0円	0円
研 修 費（b）	128,640円	0円	0円
広 報 費（c）	0円	237,270円	162,030円
広 聴 費（d）	0円	0円	0円
要請・陳情活動費（e）	0円	0円	0円
会 議 費（f）	0円	0円	0円
資 料 作 成 費（g）	0円	0円	0円
資 料 購 入 費（h）	0円	20,796円	0円
支出合計（a～hの合計）	128,640円	258,066円	162,030円
差引残金（収入－支出合計）	151,360円	61,934円	77,970円

※みらい創和会は9月分からの支給となっています。

議 員

議 員 名	馬場 亨守	三瓶 幹夫	菅野 健治	渡辺 秀雄
収 入	70,000円※	80,000円	80,000円	80,000円
調 査 研 究 費（a）	0円	0円	0円	0円
研 修 費（b）	0円	0円	40,660円	0円
広 報 費（c）	0円	0円	0円	0円
広 聴 費（d）	0円	0円	0円	0円
要請・陳情活動費（e）	0円	0円	0円	0円
会 議 費（f）	0円	0円	0円	0円
資 料 作 成 費（g）	0円	0円	0円	0円
資 料 購 入 費（h）	0円	0円	39,340円	0円
支出合計（a～hの合計）	0円	0円	80,000円	0円
差引残金（収入－支出合計）	70,000円	80,000円	0円	80,000円

政務活動費報告

議員

議員名	渡辺 善元	伊藤 隆一	作田 博	国分 勝広
収入	70,000円※	80,000円	80,000円	80,000円
調査研究費(a)	0円	0円	0円	0円
研修費(b)	0円	0円	0円	0円
広報費(c)	0円	0円	0円	41,440円
広聴費(d)	0円	0円	0円	0円
要請・陳情活動費(e)	0円	0円	0円	0円
会議費(f)	0円	0円	0円	0円
資料作成費(g)	0円	0円	0円	0円
資料購入費(h)	0円	0円	11,748円	11,142円
支出合計(a~hの合計)	0円	0円	11,748円	52,582円
差引残金(収入-支出合計)	70,000円	80,000円	68,252円	27,418円

※馬場亨守議員と渡辺善元議員は9月分からの支給となっています。

令和2年度の交付状況

会派または議員名	人数	交付金額
みらい創和会	4人	480,000円
新風会	4人	480,000円
志誠会	3人	360,000円
馬場亨守	1人	120,000円
三瓶幹夫	1人	120,000円
菅野健治	1人	120,000円
渡辺秀雄	1人	120,000円
渡辺善元	1人	120,000円
伊藤隆一	1人	120,000円
作田博	1人	120,000円
渡辺忠夫	1人	120,000円
国分勝広	1人	120,000円

政務活動費…地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究等の活動の経費として交付するもの。本市では、「本宮市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、平成25年度から会派または議員は、1人当たり月額1万円、年額12万円の交付を受けられるようになっていました。また、「本宮市議会政務活動費の取扱いに関する要綱」を定め、政務活動費の使途基準を明確にしています。

声



6月定例会を傍聴された方は10人でした。今回はその中から佐藤洋治さん（和田）に傍聴の感想をお聞きしました。

議会傍聴感想

去る6月19日、5人で議会傍聴に行ってきました。

その日は朝から雨で車から降りて議場まで行く途中で少し濡れました。私は傍聴が初めてなのでわからず、皆の後をついて三階の傍聴席に腰を下ろしました。

すでに職員が一人席に座っており、しばらくして担当職員が現れ礼をして着席、そのあと、議員さん達が一礼して入ってきました。

10時、議会が始まり付議案件、議案第45号から議案第62号まで、報告第5号から報告第9号まで説明がありました。そのあと、陳情第2号、陳情第3号の説明がありました。

私たち5人は、陳情第3号の件で傍聴しました。産業建設常任委員会では不採択になったことは非常に残念でしたが、賛成議員もおられたのは良かったと思います。

議事進行中には傍聴席から議員の顔がまったく見られず残念です。

今後ますます議員さんたちの活躍を期待しております。本宮市発展のため頑張ってください。



佐藤 洋治 さん

おじゃましました!

今号の表紙は白岩幼稚園で撮影しました。撮影した写真の一部をご紹介します。ご協力ありがとうございました。



上手に手洗いうがいできるよ!



本番に向けてダンスの練習!

本宮市議会では、新型コロナウイルス感染症対策による営業自粛等で落ち込んでいる市内経済の活性化のために議員一人当たり5万円（総額100万円）の本宮市商工会発行の商品券購入を行いました。

次回**9月議会定例会**は**9月2日**に開会予定です。**請願・陳情**の締め切りは**8月21日(16時まで)**です。

※なお、正式な日程は議会運営委員会決定します。
問い合わせ TEL 24-5435

あとがき

新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界中の社会においても大きな影響を及ぼし、多くの社会的課題が突き付けられました。

市民の安全・安心を第一として、市の主催するイベントの中止・延期・小中学校の休校と何かと不安な日々の生活が続きました。

さて、6月市議会定例会が6月10日から6月19日まで開かれ、マスクを着用しての議会でした。本会議は、国民健康保険税の税率を決定する重要な議会であり、真剣な審議が行われ閉会となりました。

これから暑い日が続きます。新たな生活様式に努めつつ熱中症等に注意され、ご自愛ください。(三瓶幹)

発行責任者

議長 渡辺由紀雄

副議長 三瓶裕司

委員長 斎藤雅彦

委員 遠藤初実

委員 菊田広嗣

委員 石橋今朝夫

委員 三瓶幹夫

委員 渡辺忠夫

委員 国分勝広

再生紙使用